

長野県作業療法士会学術誌（2016.6.25）

掲載論文 種別

1. 投稿論文

作業療法の学術的発展に寄与する論文として「総説」「研究と報告」（以下、論文という）の投稿を受け付けます。ただし、他誌に発表された論文、または投稿中の論文はお断りします。

2. 長野県作業療法士会学術大会 演題原稿（以下、演題原稿という）

長野県作業療法学術大会（以下、学術大会）で発表された演題（口述発表、ポスター発表を含む）は、演題発表年に発行の本学術誌に演題原稿として掲載されなければなりません。演題発表者は本学術誌掲載用の原稿を抄録用原稿とは別に下記投稿規定にしたがって作成し、学術誌編集委員会に提出していただきます。演題原稿の論文位置づけとしては「短報」に相当します。ただし演題原稿としてではなく、投稿論文として掲載することも可能です。

長野県作業療法士会学術誌 投稿規定

1. 投稿論文

1) 論文の種目と長さ

論文の種目と長さの基準は以下のとおりです。

① 総説

特定のテーマについて、過去の研究を概観し、論評を加え、将来的展望を加える目的で書かれるもの。論文の長さは、原稿本文の文字数 8,000 字以内、図・表あわせて 8 個以内とします。

② 研究と報告

実験、調査、臨床経験などから得られた知見を含む結果の考察および記述を指し、症例報告、実践報告も含まれます。なお、症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に示し、考察をおこなったもの。また実践報告とは、作業療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたものを示します。

論文の長さは①に準じます。

2) 著者について

筆頭著者は原則として長野県作業療法士会（以下、本会）の会員に限ります。共著者は本会員でなくても構いません。なお、著者の数は 5 名までとし、それ以上にわたる場合は謝辞の対象に入れてください。

3) 倫理的事項について

著者は、原則として厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に従い、細心の倫理的注意を払い、研究対象者の個人の尊厳および人権の尊重に努め、必要と認める場合、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述をおこなってください。

4) 著作権の帰属について

本誌に掲載された論文の著作権・版権は、本会に帰属させていただきます。

本会は、論文の全部または一部を、本会ホームページ、本会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとします。この場合、必要により論文の抄録などを作成して付すことがあります。

5) 原稿の採否について

原稿の採否は、長野県作業療法士会学術誌編集委員会で決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがあります。また学術誌編集委員会において字句の訂正をすることがあります。原稿は返却いたしません。なお、原稿は、そのテーマについて経験の深い会員に査読を依頼し、相互に情報を交換することがありますのでご了承ください。

6) 別刷りの進呈について

各論文の筆頭著者に別刷り 30 部を進呈します。

7) 投稿の手続きについて

- ① 執筆形式の確認:後述の原稿執筆要領にそっていることを確認してください。
- ② 原稿の提出方法:プリントアウトした原稿及び図表を 1 部とそれらを記録した記録媒体(フロッピーディスク、CD-R など)を下記の原稿送付先まで簡易書留で送付して下さい。
- ③ データファイル:原則として本文は MS Word またはテキスト形式、図表は MS Word, Excel 形式のいずれかとし(Power Point で作成したものは不可)。
写真を使用する場合は、デジタル画像データ(JPEG 形式)も送付してください。なお、図表、写真はモノクロで作成したものに限りです。
提出された原稿、記録媒体等はお返しできませんのでご了承ください。
- ④ その他:最新巻への掲載を希望する場合、4 月 30 日までに投稿してください。

8) 原稿送付先および問い合わせ先

〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1

長野保健医療大学

宮脇 利幸

Tel. : 026-283-6111(代表)

メールアドレス: miyawaki.toshiyuki@shitoku.ac.jp

2. 演題原稿

1) 演題原稿の内容

長野県作業療法学会で発表された内容に則したものに限り、提出された原稿の内容が発表内容と著しく異なる場合や、学術研究論文として逸脱した内容の場合などは加筆、修正をお願いする事があります。また学術誌編集委員会の判断で学術誌掲載の採否をおこなう場合があります。

2) 演題原稿提出の手続きについて

- ① 執筆形式の確認: 後述の原稿執筆要領にそっていることを確認してください。
 - ② 原稿の提出方法: 下記 1), 2)のいずれかの方法で提出してください。
 - i) プリントアウトした原稿及び図表を1部とそれらをデータファイルとして記録した記録媒体(フロッピーディスク, CD-R など)を学術大会当日に受付に提出してください。
 - ii) 後述の原稿執筆要領にそって作成したデータファイル(添付書類)を学術大会前日までに下記, 原稿送付先メールアドレスに送付してください。
- * データファイル: 原則として本文は MS Word またはテキスト形式, 図表は MS Word, Excel 形式のいずれかとし、Power Point で作成したものは不可。
写真を使用する場合は、デジタル画像データ(JPEG 形式)も送付してください。
なお、図表、写真はモノクロで作成したものに限り、提出された原稿、記録媒体等はお返しできませんのでご了承ください。

3) 原稿送付先および問い合わせ先

〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1
長野保健医療大学 宮脇 利幸
Tel. : 026-283-6111(代表)

原稿送付先メールアドレス: miyawaki.toshiyuki@shitoku.ac.jp

長野県作業療法士会学術誌

原稿執筆要領

(※種別ごとの原稿の字数・図表・締め切り等は表1を参照ください)

1. 投稿論文

- 1) 表紙: 冒頭に種目(総説, 研究と報告)を明記し, 表題, 著者名(5名まで, 職種が作業療法士以外の場合, 職種を表記すること), 所属, キーワード3~5個(日本作業療法士協会学術誌“作業療法”または日本作業療法士協会ホームページに掲載されている最新のキーワード集より選択することが原則ですが, キーワード集にない用語を選択する場合は, 同義語・類義語集に含まれていないことを確認後に()を付けて記載)
- 2) 要旨: 「研究と報告」には要旨をつけてください(400字以内).
要旨は「目的」「対象」「方法」「結果」「考察」について簡潔に記載してください.
- 3) 本文: 原稿本文の文字数は 8,000 字以内とします(表題, 施設名, 執筆者氏名, 文献, キーワード, 図表は本文に含めない).
- 4) 図・表: あわせて 8 個以内とします. 図・表は本文に出てくる順に, それぞれ一連番号をつけてください. グラフィック表現および写真は図に含めます. 図の番号および表題は図の下に, 表の場合は表の上につけ手ください. 図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとっておいてください. スライド図・表は投稿用に作成し直してください.

図表は MS Word, Excel 形式のいずれかで作成してください(Power Point で作成したものは不可).

図表, 写真はモノクロで作成したものに限りません.(写真は図扱いとする)

2. 演題原稿

- 1) 冒頭に表題, 著者名(5名まで, 職種が作業療法士以外の場合, 職種を表記すること), 所属, キーワード(5個以内, キーワードの記載方法は投稿論文に準じる)
を記載してください.
- 2) 本文: 文字数 2,800 字以内とします(表題, 施設名, 執筆者氏名, キーワード, 図表は本文に含めない).
- 3) 図・表: あわせて 5 個以内とします(図表の作成に関しては, 投稿論文に準じる).

3. その他

巻頭言: 目安として原稿本文の文字数 800 字~1,200 字程度とします.

(表題, 所属, 執筆者氏名は本文に含めない)

その他の原稿(依頼原稿 等)

学術誌編集委員会にお問い合わせください.

4. 体裁

1) 投稿論文, 演題原稿の本文は原則的に以下の構成に従って記載してください.

なお, 症例報告などでは, 「報告の目的」, 「症例紹介」, 「作業療法評価」, 「介入の基本方針」, 「作業療法実施計画」, 「介入経過」, 「結果」, 「考察」など, 以下の構成に準じた形での小見出しをつけて構成して下さい.

- ① はじめに(序論, 緒言): 研究に至った背景, 研究の意義, 先行研究との関連性および研究の目的などを記述する.

- ② **対象および方法**: 第三者が追試(再現)できるように研究の対象と介入方法を記述する。倫理的配慮・統計処理をおこなった場合はあわせて記述すること。
- ③ **結果**: 研究で得られた結果を端的、客観的に本文および図表を用いて記述する。
- ④ **考察**: 結果から客観的根拠をもって推察されることを研究の目的を踏まえて記述する。
- ⑤ **結論(まとめ)**: 研究の目的と成果を簡潔に総括し、研究で不十分だった点、将来の研究への助言などを記述する。
- ⑥ **文献**: 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列し通し番号をふる。本文中および要旨文中の引用箇所には上付き数字で文献番号を記載する。著者名は5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例にならう。

〈書籍の場合〉著者名:書籍名. 発行所, 発行場所, 発行年, 引用頁

- 1) 中村隆一, 斉藤 宏:基礎運動学 第3版, 医歯薬出版, 東京, 1987, pp. 406-413.
- 2) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J (ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp267-288.

〈雑誌の場合〉執筆者名:題名, 雑誌名 巻:頁(始めの頁-終わりの頁), 発行年.

- 1) 岩間孝賜, 原 英修:座位保持機能未獲得な重症心身障害児の姿勢と感覚遊び刺激に対する反応. 作業療法 11:358-365, 1992
- 2) Witt A, Cermak S, Coster W: Body part identification in 1- to 2-year-old children. Am J Occup Ther. 44: 147-153, 1990.

〈インターネットの場合〉Webページのタイトル, URL, アクセスした日付

- 1) 日本作業療法士協会:学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針.
http://www.jaot.or.jp/publication/gakujutsushi_rinri.html, (参照 2012-04-27)

- ⑦ **倫理上の配慮および利益相反**について:本人からの承諾, 倫理審査を経ている場合など, 倫理的配慮について記載してください。また利益相反(コンサルタント料, 株式所有, 寄付金, 特許など)がある場合にも記載等の配慮を願います。

2) 文章表現は以下の点に留意して下さい。

- ① 現代かなづかいとし, 文末形式は「だ・である調」とします。数字は算用数字, 数量は国際単位系記号(例;m, mm, ml, kgなど)を用いる。
- ② 句読点は「, . (全角)」を用いる。
- ③ 略語:略語を用いるときは初出時にフルスペルあるいは和訳を記載してください。
- ④ 外国人の人名には原語を用い, 活字体で明瞭に書く。
- ⑤ 特定の機器などを本文中に記載する場合は一般名(会社名, 商品名)と表記する。

例) 三次元動作解析装置(Oxford Metrix 社製, VICON140)

表1 字数・図表・締め切り等の一覧

種別	字数制限	キーワード制限	図・表制限	著者制限	締切
投稿論文	8,000字以内	3-5ヶ	8ヶ以内	5名以内	4月30日
演題原稿	2,800字以内	5ヶ以内	5ヶ以内	5名以内	学術大会当日
巻頭言	800字~1,200字程度	—	—	—	5月30日
その他の原稿	学術誌編集委員会にお問い合わせください				